

認知症施策推進計画策定に向けたヒアリング（主な意見）

【本人ヒアリング】

①認知症とわかった時の気持ち。

- ・特別な気持ちの変化はなく、基本的な考え方は変わらない。
- ・家族とこれまで通りの関係が続けていきたいと考えた。

② 気づききっかけとなった変化。その後、どのように行動したか、どのように受診に結び付いたか。

- ・実感はあまりなく、「なんとなく全体的に（周囲と）違ってきた」という程度の受け止め。オレンジカフェに相談し、地域包括支援センターに繋がった。地域包括職員の助言で介護認定と受診に結びついた。
- ・家族が介護職であり、見当識の乱れに気づき、「もしかしたら」と考えて受診につながった。

③ 認知症ではないかと感じた時、家族・親族・知人以外で最初にどこに（誰に）相談したか。

- ・オレンジカフェのスタッフに最初に相談した。その後、地域包括支援センターへと繋がった。
- ・カラオケ仲間との会話で共有できていたため、改めて相談する状況にはなかった。

④ 安心できる場面や対応はあるか。

- ・パートナー（妻）。いろいろと対応してくれ、心配してくれるため、何かあっても安心して相談できる。
- ・近くに頼れる家族（別居）がおり、家族の存在が大きな安心材料となっている。

⑤ 生活のなかでの楽しみはあるか、今後やってみたいことはあるか。

- ・ウォーキング。周囲から「こちらにも行ってみたい」と後押しがあれば、手を挙げて出かけてみたい。
- ・カラオケが最大の楽しみ。何十年も継続。賞状・トロフィーをもらったこともある。続けていきたい。

⑥ 不安を感じる場面や対応はあるか。

- ・昔のように自分の意思で自由に歩きに行き、楽しんで帰ってくるができなくなっていること。
- ・近くに家族がいて何かあれば言えるため、特に不安はない。

⑦認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためにあるとよい手助け。

- ・大きなこと（困りごと）、いつもと違うことがあったときに相談できるところがあるとよい。
- ・制限をせず新しい場へ促してくれる声かけ・後押しを望んでいる。

⑧ 同じ疾患を持った人と交流したいか。

- ・オレンジカフェで出会った方々との付き合いをしたいという気持ちはあるが、現状維持と考えている。

⑨ 認知症の事業を知っているか、活用しているか。

- ・市の認知症事業については、知らない。
- ・デイサービスやオレンジカフェは利用してきた。

⑩ オレンジカフェ（認知症カフェ）を知っているか。オレンジカフェに行ってみたいと思うか。

- ・以前はオレンジカフェを利用していた。複数のカフェがあることは知らなかった。タイミングや家族の付き添いがあれば、利用したい。また、担当CMが実施している、オレンジカフェに妻と共に参加したい。

⑪ 認知症の方に必要な支援はどのようなものがあると思うか。

- ・周囲から広い選択肢を示してもらえることが支援になる。交流の場を広げる後押しを求めている。
- ・足が悪い人・体の不自由な人もいるため、送迎の支援があると、家族にとっても安心。

⑫ その他

- ・カラオケの会では、年2回バスを借りて旅行・大会に出かける。今、幸せだと思っている。
- ・「人との付き合いができなくなったら終わりだ」との思いを持ち、交流を続けることを大切にしている。一時ふさぎ込んだ時期もあったが、「これではダメだ」と自ら感じ、よく話すようになった。

【家族ヒアリング】**① 本人の変化に気づいた時、どのように感じたか。**

- ・警察に2回保護されたこと、年金通帳の残高が減っていたことで、「これは普通ではない」と感じた。
- ・複数のカレンダーの月がバラバラであるなどの様子から「ちょっとおかしいな」と感じた。

② 家族のなかで気持ちの変化はあったか。

- ・最初は「どうしようか」という迷いがあったが、相談する中で「介護認定を取って、サービスを利用するに限る」と気持ちが切り替わった。相談しながら解決していこうという前向きな変化があった。
- ・「もっと早く気づいてあげられるとよかった」という後悔の気持ちがあり、それは今も続いている。

③ 他の人に打ち明けたり、相談しようと思ったか。

- ・ご近所に対して認知症をオープンに伝えた。見守りの協力を依頼している。
- ・認知症について理解のない人が多い中で、なかなか他人には相談しづらいと感じている。

④ 家族のかたが安心できる場面や対応はあるか。

- ・デイサービス利用の間は安心できる。家を空ける時に、本人をみてもらえることが助けになっている。
- ・誰かと一緒に過ごし、会話ができる時間が多いほど安心できる。「喋る相手がいる」ことが本人の状態維持にも繋がっていると感じている。こうした外出・交流の機会は重要。

⑤ 家族のかたが不安に感じることはあるか。

- ・家族が動けなくなった時の、本人の受け入れ先。また、本人の理解力の低下、買い物の際の金銭のやり取りが正しくできているか(付き添わないと危ないのではないか)という日常的な心配もある。
- ・これから先のこと。1人での生活がどこまで可能か等が心配。

⑥ 認知症の事業を知っていますか(活用していますか)。

- ・本人がオレンジカフェに通う中で、妻も一度参加する機会があった。
- ・知らなかった。必要に駆られて自分で足を運んで初めて知るという現状がある。

⑦ オレンジカフェ(認知症カフェ)を知っていますか。オレンジカフェに行ってみたいと思いますか。

- ・知っており、本人と何度か行った。家族の悩みを聞いてくれるオレンジカフェには行ってみたい。
- ・知らなかった。いずれも平日開催のため「行けない」。休日開催や身近な場所での開催を望んでいる。

⑧ 認知症の方に必要な支援はどのようなものがあると思いますか。

- ・本人の力に応じた関わりや、進行を緩やかにする支援を求めている。
- ・症状の段階に応じて「使えるケア・家族ができること」の情報を、あらかじめ知りたい。
- ・実際に使いやすい支援を求めている(移動販売など)。

⑨ 家族の方に必要な支援はどのようなものがあると思いますか。

- ・家族が調子を崩したり倒れたりした時の宿泊等の支援。緊急時のバックアップ体制を強く望んでいる。
- ・服薬管理の見守り支援。

⑩ その他

- ・現在は介護サービスが充実したと実感している。本人の「やってみたい」という意欲を止めず、お金や買い物も取り上げすぎずに本人の力を保つ関わりを大切にしている。認知症の進行予防には人とのコミュニケーションが有効であることから、無理のない範囲で交流の場に繋がっていてほしい。
- ・「何でもやってもらえる環境」よりも、自分で料理・掃除などをして頭を働かせることが状態維持に大切ではないかと考えている。